



文責 校長 山本 智文

子どもたちが輝いた小中合同運動会

5月25日(土)、絶好の運動会日和の中、「令和6年度小中合同運動会」が開催されました。今年度も、来賓や地域の皆様にもご観覧いただき、子どもたちに温かいご声援をいただきました。

今年度も愉快地に競い合ったPTAの皆さんの「玉入れ」、昨年度同様に勇ましく競い合った消防団の皆さんによる「綱引き」と「10人11脚」。地域と保護者の皆様方と一体となった運動会を開催することができ、校長としましてとてもうれしく思いました。小・中学生が1本のバトンをつないだ「リレー」、小・中学生全員で一つとなり表現した「よしゃこい」。今年度、小学生は新しいTシャツと法被を身にまとい心新たに元気に舞い踊りました。今年度も蒲刈だからできる競技や表現等が満載の合同運動会となりました。来年度も工夫をこらし、記憶に残る小中合同運動会にしていきたいと考えます。ご協力いただいたPTAの皆様、ありがとうございました。

子どもたちは自分の力を精一杯発揮し、頑張る姿を見せてくれると共に、高学年の児童は、縁の下での力持ちとして、机や椅子ふき、係の仕事、片付け等の仕事に責任をもってやりとげてくれました。日々成長していく子どもたちに私たち教職員は今後もしっかりと寄り添い、一人一人を大切にしたい教育を展開していきます。今後も蒲刈小学校の子どもたちを、蒲刈小学校をよろしくお願いたします。

お知らせ

今年度、子どもたちが着ていた「Tシャツ」と「法被」は、下蒲刈町にお住いの「菅原汽船株式会社取締役会長 菅原博文様」より寄贈していただいたものです。運動会当日、菅原様は来賓席から子どもたちの生き生きとした姿をご覧になっておられました。「蒲刈小学校の子どもたちが喜んでくれることが一番です。うれしい限りです。」とおっしゃっておられました。

菅原様、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

運動会の様子





大会スローガン



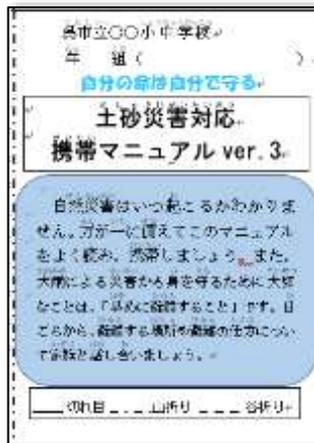
楽しんだ者が必ず勝つ
～魅せろ 蒲刈魂～



自分の命は自分で守る！

第1回小中合同避難訓練(土砂災害)

5月17日(金)は、大雨が降り土砂災害が発生したことを想定して「小中合同避難訓練」を行いました。まず、小学校の3階に垂直避難した後、中学校体育館に移動し小中合同で地域毎に分かれ、ハザードマップを使って危険な場所や避難場所の確認をしました。中学生の「どこが危険な所か分かる？」の声掛けに、小学生から「ここが危険だと思う。」「私の家の近くもやばい。」等の声があがっていました。今年度も「携帯マニュアル」を配付します。ご家族で避難経路及び避難場所等を話し合い記入し、常に携行させてください。



令和6年度「交通安全子供自転車広島県大会」に向けた練習

6月22日(土)に開催される「第59回交通安全子供自転車広島県大会」に向けて、5月から広警察署交通安全協会の方々及び下蒲刈駐在所 加計巡査部長さん、蒲刈駐在所 井上警部補さんのご指導のもと、5・6年生の代表の子どもたちが毎日放課後自転車に乗り、課題種目にチャレンジしています。

昨年度、広警察署管内を代表して、初めて蒲刈小学校の子どもたちが大会に参加しました。そして、いきなり「優秀賞」をいただきました。蒲刈小学校の名前が読み上げられた時、あまりの驚きに「やったー！」「スゲー！」と大歓声があがりました。私も「よっしゃー！」と思わず声を荒げてしまいました。子どもたちの力って、本当に素晴らしいですね。素敵な瞬間を経験することができました。

今年も熱い闘いが始まります。「学科テスト」と「安全走行テスト」「技能走行テスト」で勝敗を競います。“頑張れー、蒲小健児。ベストを尽くして記憶に残そう！”



まさに、「甘える勇気こそ人間力」なのではないでしょうか。人は、時に無力な存在となります。その時、否定されるリスクを抱えながらも人を信じて「素の自分」をさらけ出し、相手の懐に一途に飛び込んでいく…。まるで、赤ちゃんが腹這いながら親のもとに駆け込む姿であり、何度叱られても母親のエプロンの端をしっかりとつかんで「おかあさん、おかあさん」とすがりつく、あのいじらしき光景です。人を信じるという心は、自分が無力な存在であった幼き頃育てられているのです。だから、教師も、自分が無力になった時は、その「子どもの心」を見失うことなく取り戻して、子どもの懐に飛び込む関係づくりが大切だと思うのです。そして、子どももその教師の人間力に触れることで、自らの「子どもの心」を掘り起こし、今に至る成長をかみしめることができるものと考えます。

全校遊び ～第2だん～

去る5月30日（木）の昼休憩に、「全校遊び」を行いました。

5・6年生が中心となり、今回は運動会で行った「シャトルスローリレー」を全児童で行いました。2グループに分かれ、大きなシャトルを投げながら仲間につないで競争していくゲームです。思うように飛ばせないシャトルでしたが、子どもたちは力の限りシャトルを投げて友だちにつないでいきました。とても温



かく楽しい時間が流れていきました。この「全校遊び」は蒲刈小学校だからできることです。全校児童が一つになれる企画の一つです。5・6年生が最高学年としての自覚をもち、全校をまとめていってくれています。毎年思うのですが、こういう活動を通して、子どもたちが一つにまとまり、お互いを思いやり、励まし合い、共に伸びていっていることに校長として幸せを感じています。これからも子どもたちを主体として、「自分たちで運営した!」「自分たちの力でやり切った!」という満足感・達成感を味わわせてやりたいです。そのためにも、教職員一同、率先して仕掛けていきます。



第1回小中合同授業研究

6月4日（火）に第1回小中合同授業研究が、蒲刈中学校で行われました。

呉市の3つの重点施策の一つに「授業改善の推進」が位置付けられています。本中学校区の3つの重点項目の一つに「**授業改善を通じた学力向上**」を挙げています。今年度は、研究主題を「学びを活かし課題解決を図る児童生徒の育成」とし、サブテーマとして「授業改善と地域の学びを通して」と設定しました。基本的には、授業研究を通して研修を進めていきます。今回が第1回目、蒲刈中学校の岡崎教諭が1年生の「理科」の授業を公開しました。全教職員で授業を参観し、その後、協議会をもち、本授業の内容に関わり様々に協議を行っていきました。最後に、呉市教育委員会の本谷主査から「本授業についての講評」「蒲刈中学校区で大切にしたいこと」「今後の目指す方向性」等についてご示唆いただきました。このように、今後も授業研究を核として、我々の授業を改善していくことで、子どもの学力をさらに高めていきます。

